

2 工業用水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、次の2事業を行っています。

事業名	給水開始	給水先
彦根工業用水道事業 給水能力 48,500 m ³ /日	昭和 46 年 5 月	彦根市、多賀町に立地する企業 14 社
南部工業用水道事業 給水能力 74,400 m ³ /日	昭和 43 年 5 月	守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、竜王町に立地する企業 47 社

給水状況

彦根工業用水道事業

平成 21 年度下半期の基本水量は、14 社合計 37,278 m³/日で、前年度同期に比べ 94m³/日 (0.3%) 増加しました。

南部工業用水道事業

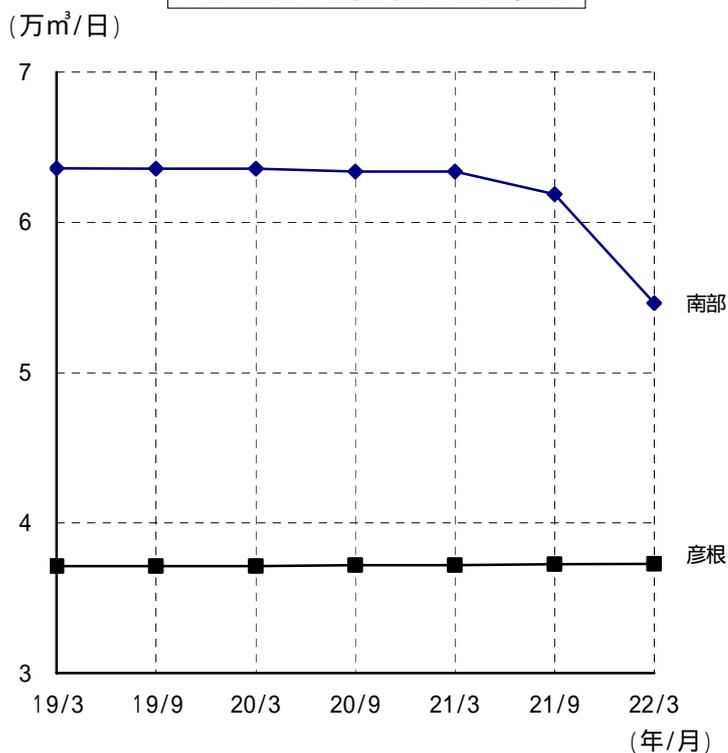
平成 21 年度下半期の基本水量は、47 社合計 54,617 m³/日で、前年度同期に比べ 8,770 m³/日 (13.8%) 減少しました。

建設改良事業の状況

南部工業用水道事業

平成 21 年度下半期は、国の改築事業補助を受け、濃縮槽機械設備更新工事等を上半期に引き続き実施するとともに、工水ポンプ等電動機更新工事等に着手しました。

近年の基本水量の状況



(2) 経理の状況

予算の補正の状況

平成 22 年 2 月県議会定例会において、事業収益は、給水収益の増加等により 14,792 千円の増額補正を、事業費用は、業務費の減少等により 20,649 千円の減額補正を行いました。また、工事費の減少等に伴い資本的収入を 48,544 千円、資本的支出を 622,246 千円、それぞれ減額補正しました。

平成 21 年度予算の執行状況

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの予算の執行状況は、次表のとおりです。

収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
工業用水道事業収益	1,346,400	-	87,144	1,259,256	1,258,787	100.0
営業収益	1,330,465	-	88,354	1,242,111	1,241,455	99.9
営業外収益	15,935	-	1,210	17,145	17,332	101.1
工業用水道事業費用	935,200	-	39,593	895,607	865,181	96.6
営業費用	878,935	-	59,137	819,798	790,789	96.5
営業外費用	56,265	-	19,544	75,809	74,392	98.1

資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
資本的収入	138,500	3,822	25,044	117,278	83,331	71.1
企業債	64,000	-	32,000	32,000	32,000	100.0
補助金	71,500	3,822	9,734	85,056	51,108	60.1
諸収入	3,000	-	2,778	222	223	100.5
資本的支出	2,082,900	69,945	537,726	1,615,119	1,311,217	81.2
建設改良費	980,033	69,945	278,865	771,113	547,412	71.0
企業債償還金	299,578	-	4,108	303,686	303,686	100.0
補助金返還金	2,267	-	2,267	-	-	-
固定資産購入費	1,022	-	202	820	819	99.9
投資	800,000	-	260,500	539,500	459,300	85.1

(注) 1 補正予算額は、平成 21 年 6 月県議会定例会、平成 21 年 9 月県議会定例会および平成 22 年 2 月県議会定例会における補正予算額の合計額です。

2 資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、内部留保資金等で補てんしました。

決算の状況

損益収支

事業収益は、給水収益等の減少により、対前年度比 8.2%減少の 1,199,635 千円となりました。一方、事業費用は、経費等の減少により、対前年度比 10.2%減少の 830,764 千円となりました。この結果、純利益は、前年度より 13,489 千円減少し、368,871 千円となりました。

比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 21 年度 決算額 (A)	平成 20 年度 決算額 (B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	(A)/(B) %
工業用水道事業収益	1,199,635	1,307,327	107,692	91.8
営業収益	1,182,340	1,282,497	100,157	92.2
営業外収益	17,295	24,830	7,535	69.7
工業用水道事業費用	830,764	924,967	94,203	89.8
営業費用	779,136	852,221	73,085	91.4
営業外費用	51,628	72,746	21,118	71.0
当年度純利益	368,871	382,360	13,489	96.5

財務状況

平成 21 年度末の総資産は、前年度より 328,032 千円 (2.2%) 増加して 15,405,128 千円となりました。これに対して、負債は 180,941 千円 (30.3%) 増加して 778,631 千円となり、また資本は 147,091 千円 (1.0%) 増加して 14,626,497 千円となりました。

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 21 年度 決 算 額	平成 20 年度 決 算 額	比較増減	科 目	平成 21 年度 決 算 額	平成 20 年度 決 算 額	比較増減
固定資産	12,466,284	11,753,473	712,811	固定負債	493,729	446,729	47,000
流動資産	2,938,844	3,323,623	384,779	流動負債	284,902	150,961	133,941
				負債合計	778,631	597,690	180,941
				資本金	8,254,946	8,147,055	107,891
				剰余金	6,371,551	6,332,351	39,200
				資本合計	14,626,497	14,479,406	147,091
合計	15,405,128	15,077,096	328,032	合計	15,405,128	15,077,096	328,032

企業債の状況

平成 22 年 3 月 31 日現在の企業債の現在高は 1,460,968 千円です。

(3) 平成 22 年度の事業および予算の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、本年度は 59 事業所に 1 日平均 59,400 m³の工業用水を供給する予定をしています。

彦根工業用水道事業については、制水弁更新工事等を行うこととしています。

南部工業用水道事業については、菩提寺加圧ポンプ場ラインポンプ化工事等を行うこととしています。

平成 22 年度当初予算の概要

収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
工業用水道事業収益		1,177,500	218,854	958,646
	営 業 収 益	1,162,692	214,578	948,114
	営 業 外 収 益	14,808	4,276	10,532
工業用水道事業費用		834,500	157,961	676,539
	営 業 費 用	777,616	150,299	627,317
	営 業 外 費 用	56,884	7,662	49,222

資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
資 本 的 収 入		3,000	1,000	2,000
	諸 収 入	3,000	1,000	2,000
資 本 的 支 出		1,056,400	208,748	847,652
	建 設 改 良 費	598,025	190,458	407,567
	企 業 債 償 還 金	155,663	18,119	137,544
	補 助 金 返 還 金	2,160	-	2,160
	固 定 資 産 購 入 費	552	171	381
	投 資	300,000	-	300,000

(注) 資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、内部留保資金等で補てんします。